

■神奈川県中小企業団体中央会

「環境経営ネットワーク」

57号 2004/06/24 発行

■グリーン調達（購買）と企業経営

1. グリーン調達（購買）とは

組織によって表現はいろいろありますが、例えば調達と購買を使い分けている場合、企業のグリーン調達は、その企業の製品を環境配慮型製品にするため、環境に配慮した部品や材料を調達することと法規制への対応になります。

またそれらの企業では組織内で使用する事務用品などについて、グリーン購買として認定品制度（組織によって表現が異なる）に基づく購入を推進し、その組織構成員の環境意識向上や、グリーン商品の市場拡大につなげていく活動と使い分けられています。

こうした企業や自治体の活動を促している背景として、単に環境にやさしいイメージをアピールするのみならず、環境への対応を怠らなければ企業や自治体の活動を阻害しかねない現状に対する認識があります。特に自動車や電機・電子製品など国際的な活動をしている企業にとって、その製品が環境へ配慮しているか否かが、企業存続の可否を問われかねない背景があります。

2. 背景

具体的な事例として、97年4月通産省（当時）が自動車とオートバイに対し、鉛の使用量削減に対する数値目標を、2005年末までに1/3に設定しました。そのため自動車の部品や材料の代替技術の開発・展開が進められています。

その背景として、米国では約60%の人々が地下水を飲んでおり、米 David Sarnoff Research Center がまとめた「地下水中の鉛の含有率が高い地域では、子供達の知能指数が低い」という内容の文書が米国議会に提出されました。知能指数（IQ）は教育水準など他の要因もありますが、従来から、鉛が神経そのものを侵し、脳に悪影響与え、神経を不安定にすることは認識されていました。使用済み自動車や電機・電子製品の埋立てから鉛などの重金属が溶出し、地下水を汚染する危険性が注目されていますが、鉛などの重金属を溶出させる元凶は酸性雨であり、環境省の調査ではpH 4-5の雨が降っており、ひどいところではpH 3-4の雨が記録されています。通常の雨なら鉛を溶出しない鉛はんだも、酸性の雨には弱く、一度汚染された地下水を元に戻すのは難しいことから、リサイクルの難しい部品では鉛などの使用を避けることが求められ

ています。このような事情から鉛など重金属の使用規制がひろがりつつあります。現在では代替技術も開発され、部品・材料に鉛フリーが拡大しています。鉛フリーの部品・材料はグリーン調達（購買）の重要な一面となります。

3．活動内容例

グリーン調達（購買）活動として、国や自治体は「グリーン購入法」（各特定調達品目及びその判断の基準等16分野199品目（平成16年版環境白書））により展開しており、また業界として取り組んだ例として、電機・電子関係のグリーン調達調査共通化協議会で策定した「グリーン調達調査共通化ガイドライン」では、各社で展開するガイドラインが策定され、このガイドラインに独自の追加項目を設けている企業もあります。

また、環境対策の管理手法として調達（購買）先へISO14001の認証取得を義務付けたり、エコマークの付いた商品の調達（購買）を優先するなどの展開が図られています。これらの活動は国内よりむしろ米国・EUでの企業活動においてより活発であり、商品を構成する部品・材料を含めた調達（購買）の国際スタンダードとなりつつあります。グリーン調達（購買）への対応は物づくり企業のみならず、梱包材や車両運行計画のスリム化など、物流・サービス産業を含めた大きな潮流となりつつあり、企業経営上の大きな課題として展開が図られつつあります。

4．おわりに

化学物質のグリーン調達（購買）を展開している企業や自治体から、調査票による回答を要求されるケースが増えています。調達（購買）側と納入側の相互が背景や海外を含む各地域の規制などの情報を共有する必要性があり、要求内容に対し相互に理解しあう中で今後さらに進歩していくものと思われます。ただ単に業務の負荷が増えるというマイナスの捉え方ではなく、むしろプラスの情報とし、変化への確に対応する事がこれからの経営に求められています。これらの対応をIT技術の応用や情報を先取りして入手し経営に生かしていくため、専門家のコンサルティングを受けることにより効率の良い対応ができるようになっています。

神奈川県技術士会 環境マネジメントセンター 萩野太郎

「環境経営メールマガジン」の全過去ログを見ることができます。

<http://itnet.chuokai-kanagawa.or.jp/chuocomdb/mm.html>

また、環境経営メールマガジンの他にも、IT、生活、技術などメールマガジンを発行しております。(上記 URL で内容を参照できます)
是非、ご一読を・・・！

神奈川県中小企業団体中央会 <http://www.chuokai-kanagawa.or.jp/>
メールマガジン「環境経営ネットワーク」